

令和3年度 金閣小学校教育の基本方針

学校教育目標

自分の夢に向かって、人や環境に働きかける子の育成

目指す子ども像

～自ら学び，自ら考え，自ら行う子～

- よく見て，よく聞いて，よく考える子
- 「なりたい自分」にむかってがんばる子
- 友達を自分と同じように大切にする子

育てたい資質や能力

- 自分から進んで周囲の人に関わろうとする力【コミュニケーション力】
- 身の周りの事象から課題を見つけ，進んで解決しようとする力【問題解決力】

目指す教職員像

- 信頼できる大人としてのモデルを示すことのできる教職員
【連携・協働・研鑽】

目指す学校像

- 「あいさつ」と「ありがとう」が響き渡る学校
- 子どもが夢に向かって自分の力を発揮できる学校
- 一人一人の子どもが徹底的に大切にされる学校

指導の重点

(1) 教育活動

① 学年経営を基盤とする学級経営の安定化

- 全ての子どもが安心して，過ごせる学級・学年
- 自分の居場所がある学級・学年
- 目標をもって行動する学年
- 児童理解
 - ・児童，保護者との信頼関係の構築
 - ・学習（生活）態度の観察と学習成果物の分析
 - ・より多くの視点での児童理解
 - ・児童一人一人の背景を捉える（生活実態の把握）児童のせいにしない
 - ・罰とおどしによる指導の徹底した排除
- 心情的共感
 - ・心情的に共感し合える関係の構築 心の交流
- 受容
 - ・まず受け入れる しっかり話を聞く

- ・ 思いを受け入れ，相手の立場になって考えてみる
- ・ まず聞き入れて付き合ってみる
- ・ 最後まであきらめない

②カリキュラムマネジメントの視点による教育実践

○カリキュラムデザイン

- ・ すべての教育内容を教科横断的な視点で組織的に配列し，効果を高める。

○PDCAサイクル

- ・ 教育内容の質的向上を図るために，評価・改善・充実の好循環を目指す。

○内外リソースの活用

- ・ 教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせる。

③授業（学習指導）の質的改善

○基礎基本の徹底指導・定着

- ・ 「読む力」「書く力」と「計算力」を向上させる
- ・ 楽しい授業，分かる授業，できる授業の構築
- ・ ノート指導，発問・板書の工夫・個別指導の工夫
- ・ 導入は短く，中心（山）のある授業展開
- ・ 一時間ごとの「ねらい」の明確化
- ・ 「めあて」「見通し」と「まとめ」「ふりかえり」

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・ つけるべき資質や能力【コミュニケーション力と問題解決力】の明確化
- ・ 問題意識をもって追究する問題解決的な学習の展開
- ・ 理科専科（４～６年）・体育専科（３～６年）・音楽専科（５・６年）による質の高い授業
→ 高学年での，中学校進学に向けた教科担任制の導入への積極的な準備
- ・ 「授業が楽しい」から「学校が楽しい」への変容

○個に応じた指導

- ・ 一人一人に応じた補足的・発展的な学習
- ・ LD等支援を要する児童への学力保障（総合育成支援教育の取組）
- ・ 通級指導教室との連携

○学習評価の充実（指導と評価の一体化）

- ・ 京都市スタンダード及び評価補助簿の活用

④道徳教育の充実

○道徳実践力を培う

○あらゆる教育活動を通して，子どもの内面に根ざした道徳性を養う。

○「読み物資料」「視聴覚資料」の活用

- ・ 特別活動との関連
- ・ 道徳的価値を自分の生活と関連付けて理解させる
- ・ 多面的・多角的に考えたり議論したりする授業の創造

⑤総合的な学習の時間の充実

○探究的な見方や考え方を働かせ、横断的・総合的な学習展開を通して、
自己の生き方に働きかける資質や能力を育てる。

- ・ 各教科の学びとの関連を強化し、問いが連続する単元構成を図る。
- ・ 学校行事や特別活動と学習内容を関連付けることで、教科横断的な学習の充実を図る。
- ・ 学習発表会を、総合的な学習の時間の表現課題の一環ととらえ、保護者や地域の方に積極的に発信する。

⑥英語教育の充実

○小中連携を意識し、コミュニケーション能力の基礎となる 資質や能力を育てる。

- ・ A L T との連携による指導の充実
- ・ 小中連携の強化による指導の接続
- ・ 新教材を使用した指導の工夫
- ・ 高学年の学習評価の研究
- ・ 低学年の指導法の研究や教材開発の推進

⑦キャリア教育の充実

○生き方探究パスポートを活用したキャリア発達の継続的アセスメント

⑧プログラミング教育の実施

⑨特別活動の充実

○自ら進んで活動する「集団づくり」の推進

- ・ 6年生を中心とした児童会活動
- ・ 「委員会活動」「クラブ活動」等での人間関係力の育成
- ・ 学校行事のねらいと計画的な取組
- ・ 縦割り活動（ABC 集会）の充実

◎社会見学・宿泊学習

- ・ 目的意識をはっきりさせた活動の創造
- ・ 花背山の家 1泊2日 （5年生）（6年生）
- ・ 修学旅行 1泊2日 （6年生）
- ・ 遠足 （1・2年生）
- ・ 生活科，社会科，生活単元学習，総合的な学習の時間の学習内容による社会見学・校外指導

⑩読書活動の充実

○児童の読書への興味・関心を高めるための取組の推進

- ・ 効果的な朝読書の工夫

- ・読書環境の充実と「１００冊読書」への挑戦
- ・学校図書館の普通授業での活用
- ・読み聞かせ活動の充実
- ・学校司書との連携による，各学級での読書活動及び読書指導の充実

⑪ 家庭学習の充実

- 基本的な学習習慣の定着（１５分×学年）
 - ・家庭学習の手引きの活用
 - ・自学自習の習慣化のための啓発
- 明確な家庭学習課題の設定（宿題・家庭学習習慣・自学自習）と確実な点検
 - ・家庭の果たすべき役割の啓発と協働の取組
 - ・学習予定表の工夫
 - ・自主学習の取組
 - （家庭学習時間帯の設定・起床・就寝時刻など）
 - （読書の習慣化）（家庭学習課題の明確化）
 - （保護者との交流）

⑫ 学校生活の基本的な生活習慣の向上

- 登下校の把握と指導
- 挨拶と当番活動の指導の徹底
 - ・日直指導，清掃指導，給食指導
 - ・自分から，遠くから，大きな声で，名前も呼んで
- 学校のきまりを徹底して守らせる
 - ・「自分を守るため」「人を大切にするため」の学校の決まりの確認
 - ・判断力を育成するための「考えさせる指導」
- 整理整頓
 - ・使ったものは元通りに
 - ・教材教具の整備と整理